

**答**

地域における中小企業の経営は、依然として厳しい状況にあり、会員企業数の伸び悩みが会費収入の減少要因であると認識している。

また、サイクスのスタッフについては、ジェネラルマネージャー・コーディネーター・食の創造館のスタッフ・技術相談室のアドバイザーなど、現在22名の職員を配置している。

事業発注者と受注者が同じであることについては、地方自治法第153条第1項の規定に基づき、副市長への契約締結の権限委任を行っており、法的には何ら問題は無いと判断している。

**市内企業の支援策は？**

(日本共産党西条市議団)

**問**

報告書では、地元中小零細企業の声や、全体の業績の分析がなされていない。市内の企業への支援を全面的に行っていくべきではないか。

また、平成19年度決算で、外注費・雑給・交際費が予算に対して増加しているが、その理由は何か。

さらに、将来は民間に任せ、

公的資金はそのとき回収するの考えであるが、その根拠はどういうことか。

**答**

サイクスでは、地域中小企業の自立化を支援するため、サイクス何でも相談室や技術相談室を開設し、いろいろな相談を受けている。毎週月曜日には、うちぬきサロンを開催し、企業の声を聞いている。

また、西条産業情報支援センター、食の創造館の指定管理業務のほか、中小企業基盤整備機構や四国経済産業局・県・市などからの受託事業を行っており、これら事業を推進するため、職

員の雇用や各種調整のための旅費も必要である。各種セミナー開催経費が増額するのは当然であり、積極的に事業推進しているものと認識している。

さらに、公的資金の回収とは、負担感のないような産業の制度、政策を持ち込み、民間の利益を高め、そして納税していただくということが、一つの回収のあり方である。

地方は、企画力・営業力・技術力は個々にあるが、それをどうつなぎ合わせるか、この大きな役割を果たしているのがサイクスであると考えている。

**6月定例会における議案等の審議結果**

議案番号	議案名	結果
議案第58号	一般会計補正予算(第1回)について	原案可決
議案第59号	国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第60号	公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第61号	ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第62号	庄内財産区特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第63号	財産の処分について	"
議案第64号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	"
議案第65号	一般会計補正予算(第2回)について	"
報告第1号	平成19年度西条市繰越明許費繰越計算書について	報告聴取
報告第2号	株式会社西条産業情報支援センターの経営状況について	"
報告第3号	西条市土地開発公社の経営状況について	"
報告第4号	交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	"

**一般質問****今後の市政推進に関する  
展望と所信を問う**

(自民クラブ)

**問**

変転する社会経済情勢の中で、新西条市の初代市長に就任され、既に3年半が経過した。その間、明確な都市戦略のもとに、活力ある産業の育成や積極的な企業誘致による新たな雇用と税収の確保など、多岐にわたる施策は着実に進展し、実を結びつつある。

一方で、松山市への工業用水の分水問題や、市立周桑病院の経営問題など、さまざまな課題を抱えている。これらに対処するに当たっては、確固たる政治手腕が求められているが、今後の市政の展望と所信を問う。

**答**

初代市長に就任してから今日までの間、全市の融和一体を進めるとの強い思いを持ちながら、市民の皆様や議会・関係機関と活発な論議を重ねて市政に取り組んできた。

その結果、一定の満足感を持っているが、都市間競争が激化



市の中心部及び臨海工業団地を望む

している中で、西条市が持つ豊かな資源や地域力を活かし、さらに都市基盤の整備や産業の振興を図るとともに、将来の地方自治体のあるべき姿として、自立・自活・自己責任・自己決定に視点を置いたしくみづくり、人づくりに努めることが重要である。

特に、喫緊の課題となっている水の問題は、従来どおりの方向性でもって臨み、また、市立周桑病院の改善については、医師の確保など早急な解決策を求めていきたい。

今後とも、西条市発展の礎を築いてこられた先人のかたがたに対する感謝の気持ちを忘れることなく、全身全霊をささげて市政の執行を担っていきたい。